

しっかり知って 正しく話そう エネルギーのこと

値上げラッシュ

原材料価格や物流費の高騰を受け、食品・サービスなどの幅広い分野で値上りの動きが広がっている。電気代も例外ではありません。

節電？ 我慢？ 限界か 電気代さら値上げ

北海道電力は17ヶ月じわじわ引き上げてきた電気代と別に、12月から家庭向け自由料金の値上げを発表した。

値上げの元凶 燃料調整制度って？

燃料調整制度とは、燃料価格が為替レートの変動の影響で、電気料金に反映させることができる制度。これまでは上限が設定され、起えた分は北電が負担してきたが、12月以降上限が撤廃されるため、家庭が負担することになる。

なぜ上がる？ 電気代

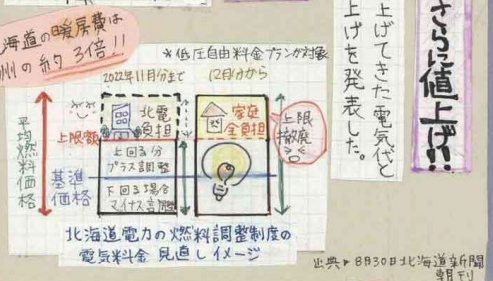
電気代は世界中で高騰している。値上げの原因はウクライナ情勢による燃料の高騰や歴史的田舎など複雑な火力発電への依存が高くなる燃料を輸入に頼る日本は、値上げのリスクは今後も続くだろう。

いよいよ必要なのはエネルギーの見直しとくらしでの使い方

わたしたちがまずすべきことは、日本の今と目標を知ること。12月の「ぼくたちが大人になる日」...

日本の電源構成の目次表

現状	2020年度	2030年度見通し	2050年度見通し
火力	76%	41%	10%
原子力	20%	22%	50%
再生可能エネルギー	4%	38%	40%



消費者参加型 節電プログラムで効率UP

デマンド・リスポンス

電力会社と家庭がスマホでつながり、エネルギーの見える化を行い、電力を送る側と使用する側のバランスをとる仕組み。節電の必要性が高まる今、個人個人の意識向上に期待だ。

気になる家の電気代...

暮らし方を少し変えるだけでかある未来

Sapporo FCV (公用車)

豊かな海と森に囲まれ、安心して暮らせる持続可能な社会へつぎはじめてみませんか。

北海道教育大学
附属札幌小学校
6年 山村 理透

家庭の電気代が上がることを知っていますか？

71% クロームプルの作業を一時中断する場合、あなたならどうする？ 節電も意識して 答えて下さい

CO2削減や節電の為に取組んでいること TOP3

- 1位 ゴミの分別
- 2位 マイボトル(水筒)
- 3位 こけしに電気を消す(白率)

ご飯を美味しく食べる

環境モデル都市 苫小牧市 脱炭素に不利？ 豪雪リゾート地の挑戦

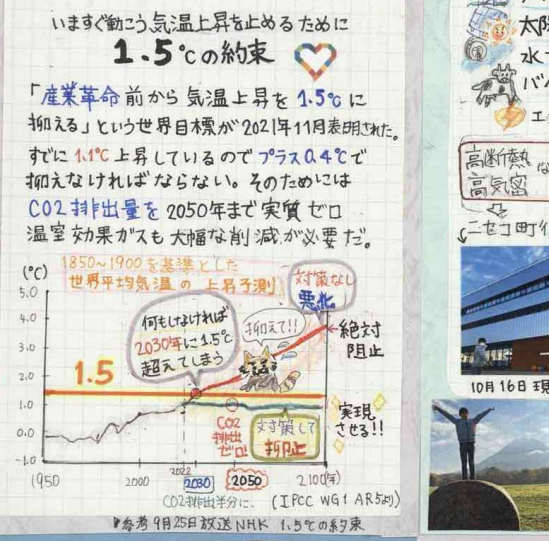
風力：景観条例で高さ制限
太陽光：雪の影響で冬の運用難
水力：生態系や雪の影響
バイオマス：牛の頭数不足

エネルギーをつくるのではなく、へらすことで省エネ

自然豊かなだけじゃない!! CO2削減に取り組む 宮ノ丘幼稚園

10月13日 取材

ぼくが通った幼稚園は再エネが広く知られる前から、カボチャ・ニョウランに取り組みんでいます。冬に欠かさないペレットストーブを取りました。木質ペレットの原料は十勝浦幌町の問伐材。エネルギーの地産地消も、こだわりの1つです。燃やす時に排出されるCO2は、木が成長する時に吸収した分。つまり大気中のCO2を増やすことはありません。最後に残る灰は、畑の肥料や冬の道のすべり止めとなります。ペレットが入ったビニールの大袋は袋は園児の雪山すべりに使います。これが最高なのは、ぼくが卒業園児代表して保証します。あますことなく使い切るのです。



エネルギー消費量を削減! 断熱による省エネでゼロカーボンを目指します

お話をくれたのは、後援企業環境課の西田 (11月11日)

- 窓は重構造
- 壁の断熱材を厚くし、マイナが長く冬も光熱費が安い。
- 18庁舎より燃料費3分の1に削減
- 住民への普及を目指している。

未来の力を握る 再エネ 洋上風力発電

洋上風力で生み出される莫大な電力も地産地消にむけて、大消費地東京へ送るプロジェクトが、動き出した。なんと海底ケーブルで首都圏と結ぶというのだ。道は2030年の運用を目指し調査を開始した。

(2022年8月29日 H&C 今日特ダネニュース)

これからのエネルギー

このままでは、エネルギーの確保が難しくなる。再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギーの消費を削減する必要がある。

エネルギーのしくみ

原子力、太陽光、風力、水力、バイオマス、地熱、海洋エネルギー、水素エネルギー、蓄電池、スマートグリッド、EV充電インフラ、エネルギー管理システム、エネルギー取引プラットフォーム、エネルギー市場、エネルギー政策、エネルギー規制、エネルギー研究開発、エネルギー教育、エネルギー文化、エネルギー芸術、エネルギースポーツ、エネルギーファッション、エネルギーデザイン、エネルギー建築、エネルギー都市計画、エネルギー社会、エネルギー未来。

未来の力を握る 再エネ 洋上風力発電

洋上風力で生み出される莫大な電力も地産地消にむけて、大消費地東京へ送るプロジェクトが、動き出した。なんと海底ケーブルで首都圏と結ぶというのだ。道は2030年の運用を目指し調査を開始した。

(2022年8月29日 H&C 今日特ダネニュース)